[参考]

|  |
| --- |
| **４０１３．出港前報告一覧照会** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＩＭＬ | 出港前報告一覧照会 |

１．業務概要

「出港前報告（ＡＭＲ）」業務または「出港前報告訂正（ＣＭＲ）」業務（以下、「ＡＭＲ業務等」という。）、「出港前報告（ハウスＢ／Ｌ）（ＡＨＲ）」業務または「出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）  
（ＣＨＲ）」業務（以下、「ＡＨＲ業務等」という。）で登録した情報に基づき、本船利用船会社単位（共同運航の場合は、各本船利用船会社の自社単位）またはマスターＢ／Ｌ＊１単位に出港前報告情報の船舶情報＊２、Ｂ／Ｌ等の情報を一覧照会する。

また、船積港毎の出港日時の報告状況の照会も本業務で行う。

| 照会  区分 | 照会名称 | 概要 |
| --- | --- | --- |
| Ａ | 概要情報照会 | オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ及びハウスＢ／Ｌを一覧で照会する。 |
| Ｂ | 不一致情報照会 | ＡＭＲ業務等、ＡＨＲ業務等または「出港日時報告 （ＡＴＤ）」業務の出港前報告情報不一致判定（報告期限超過判定、ハウスＢ／Ｌ未登録判定、マスターＢ／Ｌ未登録判定、船舶情報不一致判定）において、不一致となったＢ／Ｌを一覧で照会する。 |
| Ｃ | リスク分析結果事前通知情報照会 | 「出港前報告事前通知（ＣＤＮ０１）」業務によりＢ／Ｌにリスク分析結果の事前通知＊３が登録されているＢ／Ｌを一覧で照会する。 |
| Ｄ | 出港日時報告状況一覧照会 | 船積港毎の出港日時報告状況を一覧で照会する。 |
| Ｅ | 概要情報照会（ハウスＢ／Ｌ） | ＡＨＲ業務等で登録したハウスＢ／ＬをマスターＢ／Ｌ単位に照会する。 |
| Ｆ | 不一致情報照会（ハウスＢ／Ｌ） | ＡＴＤ業務の不一致判定（報告期限超過判定）において、不一致となったハウスＢ／ＬをマスターＢ／Ｌ単位に照会する。 |
| Ｇ | リスク分析結果事前通知情報照会（ハウスＢ／Ｌ） | ＣＤＮ０１業務によりＢ／Ｌにリスク分析結果の事前通知が登録されているハウスＢ／ＬをマスターＢ／Ｌ単位に照会する。 |
| Ｈ | 概要情報照会（オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ） | オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌのみを一覧で照会する。 |

（＊１）Ｂ／Ｌの種類は以下のとおりとする。

①「オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ」

ＡＭＲ業務等で登録されるＢ／Ｌ。

②「ハウスＢ／Ｌ」

ＡＨＲ業務等でハウスＢ／Ｌとして登録されるＢ／Ｌ。

③「マスターＢ／Ｌ」

オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌのうち、ハウスＢ／Ｌと関連付けされているＢ／Ｌ、またはマスターＢ／Ｌ識別に「Ｍ」を入力したＢ／Ｌ。

（＊２）船舶情報とは、以下の７項目を指す。

①船舶コード

②航海番号

③船会社コード

④船積港コード

⑤船積港枝番

⑥船卸港コード

⑦船卸港枝番

（＊３）リスク分析結果の事前通知とは、以下の４つを指す。

①ＨＬＤ

②ＤＮＬ

③ＤＮＵ

④ＳＰＤ

２．入力者

税関、船会社、船舶代理店、ＮＶＯＣＣ、ＳＰ

３．制限事項

なし

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②船舶代理店の場合で、船卸港の入力がある場合は、入力された船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されていること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）出港前報告情報ＤＢチェック

入力された照会区分が「Ｄ」以外の場合は、照会対象Ｂ／Ｌが１件以上存在すること。

（４）出港前報告管理ＤＢチェック

入力された照会区分が「Ｄ」の場合は、入力された船舶情報＊２に対してＡＭＲ業務等またはＡＨＲ業務等による出港前報告が行われていること。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）照会対象Ｂ／Ｌ抽出処理

以下の条件に合致するＢ／Ｌを出港前報告情報ＤＢより抽出する。

（Ａ）照会区分「Ａ」

（ａ）オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出

入力された船舶情報＊２と登録されている船舶情報＊２が同一のオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌを抽出する。

なお、入力者が船会社、船舶代理店（船卸港の入力がない場合）、ＮＶＯＣＣ、ＳＰの場合は、上記に加えて、以下の条件に合致するＢ／Ｌのみを抽出する。

（ア）入力者が船会社の場合

以下のいずれかを満たすオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌを抽出する。

①入力者の船会社コードと登録されている船会社コードが同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

（イ）入力者が船舶代理店（船卸港の入力がない場合）の場合

①入力者の利用者コードと出港前報告者が同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

（ウ）入力者がＮＶＯＣＣの場合

下記（ｂ）（イ）の条件に合致するハウスＢ／Ｌに関連付けられているマスターＢ／Ｌを抽出する。

（エ）入力者がＳＰの場合

以下のいずれかを満たすオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌを抽出する。

①入力者のＳＰを経由した出港前報告が行われている。

②入力者のＳＰを経由した出港日時報告が行われている。

③下記（ｂ）（ウ）①または②の条件に合致するハウスＢ／Ｌに関連付けられているマスターＢ／Ｌである。

（ｂ）ハウスＢ／Ｌ番号の抽出

以下の条件に合致するハウスＢ／Ｌを抽出する。

（ア）入力者が税関、船会社、船舶代理店の場合

上記（ａ）で抽出したマスターＢ／Ｌに関連付けられているハウスＢ／Ｌを抽出する。

（イ）入力者がＮＶＯＣＣの場合

上記（ａ）で抽出したマスターＢ／Ｌに関連付けられているハウスＢ／Ｌに対して、以下のいずれかを満たすハウスＢ／Ｌを抽出する。

①入力者の利用者コードと出港前報告者が同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

（ウ）入力者がＳＰの場合

上記（ａ）で抽出したマスターＢ／Ｌに関連付けられているハウスＢ／Ｌに対して、以下のいずれかを満たすハウスＢ／Ｌを抽出する。

①入力者のＳＰを経由した出港前報告が行われている。

②入力者のＳＰを経由した出港日時報告が行われている。

③上記（ａ）（エ）①または②の条件に合致するマスターＢ／Ｌに関連付けられているハウスＢ／Ｌである。

（Ｂ）照会区分「Ｂ」

（ａ）オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出

照会区分「Ａ」におけるオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出条件に加えて、以下のいずれかの条件を満たすオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌのみを抽出する。

①出港前報告情報不一致の旨が登録されているオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ。

②出港前報告情報不一致の旨が登録されているハウスＢ／Ｌに関連付けられているマスターＢ／Ｌ。

（ｂ）ハウスＢ／Ｌ番号の抽出

照会区分「Ａ」におけるハウスＢ／Ｌ番号の抽出条件に加えて、出港前報告情報不一致の旨が登録されているハウスＢ／Ｌのみを抽出する。

（Ｃ）照会区分「Ｃ」

（ａ）オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出

照会区分「Ａ」におけるオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出条件に加えて、以下のいずれかの条件を満たすオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌのみを抽出する。

①リスク分析結果の事前通知が登録されているオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ。

②リスク分析結果の事前通知が登録されているハウスＢ／Ｌに関連付けられているマスターＢ／Ｌ。

（ｂ）ハウスＢ／Ｌ番号の抽出

照会区分「Ａ」におけるハウスＢ／Ｌ番号の抽出条件に加えて、リスク分析結果の事前通知が登録されているハウスＢ／Ｌのみを抽出する。

（Ｄ）照会区分「Ｅ」

入力されたマスターＢ／Ｌ番号に関連付けされたハウスＢ／Ｌ番号である。

（Ｅ）照会区分「Ｆ」

①入力されたマスターＢ／Ｌ番号に関連付けされたハウスＢ／Ｌ番号である。

②ＡＴＤ業務により、出港前報告情報不一致の旨が登録されている。

（Ｆ）照会区分「Ｇ」

①入力されたマスターＢ／Ｌ番号に関連付けされたハウスＢ／Ｌ番号である。

②リスク分析結果の事前通知が登録されている。

（Ｇ）照会区分「Ｈ」

照会区分「Ａ」におけるオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号の抽出条件に加えて、以下の条件をすべて満たすオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号のみを抽出する。

・ＡＭＲ業務等により出港前報告が行われている。

・「出港前報告Ｂ／Ｌ関連付け（ＢＬＬ）」業務より、変更前Ｂ／Ｌである旨が登録されていない。ただし、同時に変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されている場合を除く。

（３）照会対象船積港抽出処理

照会区分が「Ｄ」の場合は、入力された船舶情報＊２に該当する船積港を抽出する。

（４）出港前報告一覧照会情報編集出力処理

抽出したＢ／Ｌに対する出港前報告情報ＤＢ、または入力された船舶情報＊２に対する出港前報告管理ＤＢより出港前報告一覧照会情報（概要情報）等の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（５）注意喚起メッセージ出力処理

照会区分が「Ａ」、「Ｂ」、「Ｃ」または「Ｈ」の場合で、かつ出力された情報の他に照会対象となる情報が存在する場合は、注意喚起メッセージとして出港前報告一覧照会情報に出力する。

６．出力情報

| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| --- | --- | --- |
| 出港前報告一覧照会情報 | 以下のいずれかの条件を満たすとき、出力する  （１）照会区分が「Ａ」、「Ｂ」、「Ｃ」の場合  （２）エラーとなった | 入力者 |
| 出港日時報告状況一覧情報 | 照会区分が「Ｄ」の場合 | 入力者 |
| 出港前報告（ハウスＢ／Ｌ）一覧照会情報 | 照会区分が「Ｅ」、「Ｆ」、「Ｇ」の場合 | 入力者 |
| 出港前報告（オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ）一覧照会情報 | 照会区分が「Ｈ」の場合 | 入力者 |

７．特記事項

（１）抽出対象となるＢ／Ｌについて

照会区分「Ａ」、「Ｂ」及び「Ｃ」で抽出されるハウスＢ／Ｌについては、「入力された船舶情報＊２とシステムに登録されている船舶情報＊２が同一のハウスＢ／Ｌ」ではない。

そのため、船舶情報不一致となった場合は、「ハウスＢ／Ｌに登録されている船舶情報＊２」ではなく、「マスターＢ／Ｌに登録されている船舶情報＊２」にて照会する必要があるため、注意すること。

（２）ソート条件

（Ａ）照会区分「Ａ」、「Ｂ」または「Ｃ」

Ｂ／Ｌ番号を以下の順でソートして出力する＊４。

|  |
| --- |
| オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ①  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ①配下のハウスＢ／Ｌ①  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ①配下のハウスＢ／Ｌ②  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ①配下のハウスＢ／Ｌ③  ……  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ②  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ②配下のハウスＢ／Ｌ①  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ②配下のハウスＢ／Ｌ②  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ②配下のハウスＢ／Ｌ③  ……  オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ③  …… |

（＊４）オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号でソート（昇順）して出力する。

ただし、オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ配下にハウスＢ／Ｌが存在する場合は、オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号を出力した直後に、配下のハウスＢ／Ｌ番号を出力（ハウスＢ／Ｌ番号でソート（昇順））する。

（Ｂ）照会区分「Ｄ」

船積港コードでソート（昇順）して出力する。

（Ｃ）照会区分「Ｅ」、「Ｆ」または「Ｇ」

Ｂ／Ｌ番号でソート（昇順）して出力する。

（Ｄ）照会区分「Ｈ」

オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ番号でソート（昇順）して出力する。